

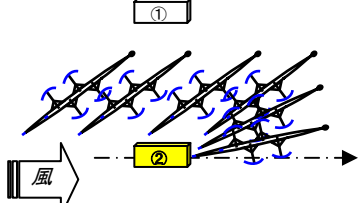
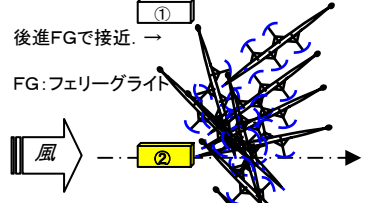

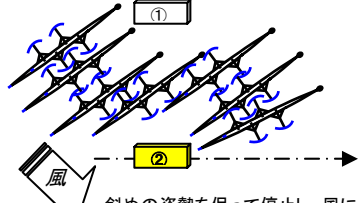
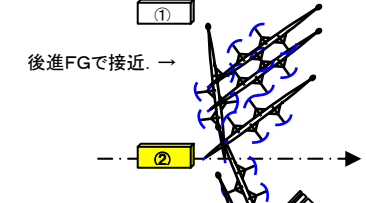
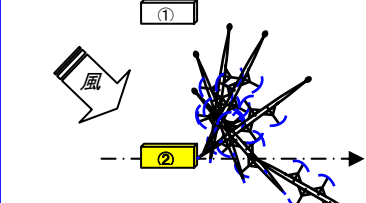
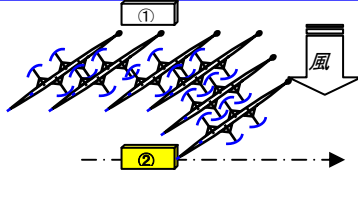

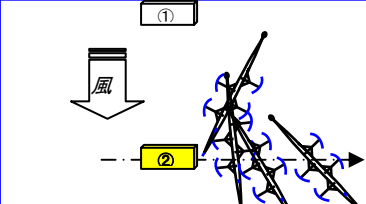
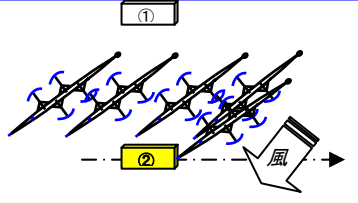
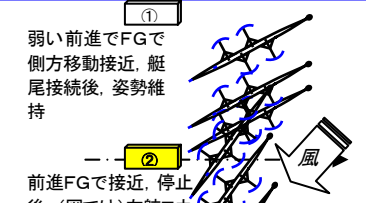
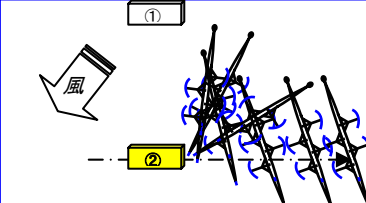
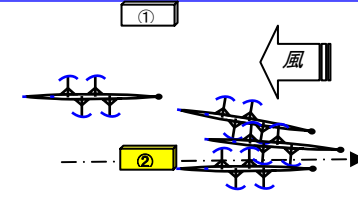
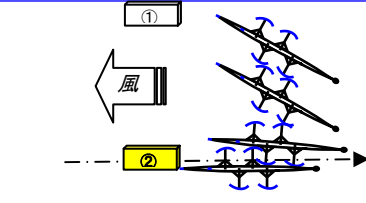
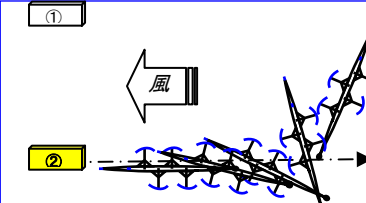
# R04-202 風に対応した発艇位置へのアプローチ

「レーン前方で艇を進行方向に向け、バックローで接近」というパターンは無風静水でしか適用できない。風を読み正しく操艇すれば、どんな条件でもスマートに接続できる。

## Steering to the Start point in the Wind

以下は、5つの風向タイプ別(順風; 上段~逆風; 最下段)の、3つの接近方向(背後: 左列~側方~前方; 右列)でのアプローチの、基本的な操艇パターンを示している。操船が苦手な

ルールは、机上で様々なパターンを理解できるだろう。技術的センスは習熟速度には寄与するが、熟達にはやはり、様々な状況下で、経験を積むしかない。

A: 背後から接近する場合	B: 側面から接近する場合	C: レーン側からの接近
 <p>① ②</p> <p>斜めの姿勢を保って停止。風に流されて接近。風下サイド(図では右舷)バックローでつける。</p>	 <p>① ②</p> <p>後進FGで接近。→ FG: フェリーグライド</p> <p>または前進FGで接近後、前進+旋回→</p>	 <p>① ②</p> <p>中心をずらして逆行、旋回しながら艇尾を付け、風で自然にレーンの方向へ。</p> <p>※中心線上のバックローは、強風下では不適當</p>
 <p>① ②</p> <p>斜めの姿勢を保って停止し、風に流され接近。前進で艇尾を合わせて再停止。艇尾確保後、風下サイドロウで、その姿勢を維持。</p>	 <p>① ②</p> <p>後進FGで接近。→</p> <p>または前進FGで接近後、旋回しながら艇尾を接続。→</p>	 <p>① ②</p> <p>前進FGで接近し、旋回しながら艇尾を接続。風に流されながら適度な姿勢で、風下サイドロウで姿勢を維持。</p>
 <p>① ②</p> <p>前進FGで接近。停止後風に流されて接近。艇尾接続後、風下サイドロウで、そのまま姿勢を維持。</p>	 <p>① ②</p> <p>姿勢を維持して停止。流されて接近。接続後、風下サイドロウで姿勢維持→</p> <p>または、前進で接近し、旋回で艇尾を接続。風に流され自然に姿勢修正+風下サイドロウ→</p>	 <p>① ②</p> <p>前進FGで接近し、旋回で艇尾を接続後、風に流され姿勢をもとし、風下サイドロウで姿勢を維持。</p>
 <p>① ②</p> <p>前進FGで接近。停止後風に流されて接近。艇尾接続後、風下サイドロウで、そのまま姿勢を維持。</p>	 <p>① ②</p> <p>弱い前進でFGで側方移動接近。艇尾接続後、姿勢維持</p> <p>前進FGで接近。停止後、(図では)左舷ロウで、姿勢をレーンに振り、次に右舷ロウに替え姿勢維持</p>	 <p>① ②</p> <p>前進FGで接近。旋回で艇尾を接続後、風に流されて姿勢調整。風下サイドロウで、姿勢を維持。</p>
 <p>① ②</p> <p>前進、前進FGで中心線上に乗せ、正しくレーンに平行にして、風に流されて接近、接続。</p>	 <p>① ②</p> <p>前進FGで側方から接近。中心線手前から姿勢を正しくレーンに平行に調整し、風に流され接近、接続。</p>	 <p>① ②</p> <p>前方で正しく中心線上に乗せ、風に流され(あるいは少しのバックを加え)接近し、接続。</p>